
来賓挨拶

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究主幹
岩井 一郎

ヘルスリサーチフォーラムの協賛機関の医療経済研究機構を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、これまで20年以上にわたり国民一人一人のクオリティ・オブ・ライフの向上に向けて幅広く充実した研究助成を継続されてこられたファイザーヘルスリサーチ振興財団様のご貢献に対して深く敬意を表するものでございます。また、本日の第24回ヘルスリサーチフォーラムが『共生社会におけるヘルスリサーチ』というテーマのもとに、大変充実した内容で開催されておりますことを、心からお喜び申し上げます。

皆さま方ご案内のとおり、わが国は健康で長生きできる社会づくりを実現させてきた一方で、国民皆保険の達成から早や半世紀以上、また、介護保険制度の開始からは20年近く経ちまして、諸外国と比較しても非常に急速な少子高齢化、人口減少が進展する状況に直面いたしております。こうした中で、国民一人一人の一生涯を通じた健康を支える持続可能な医療・介護の制度をどのようにして維持していくかが、まさに今、わが国にとって最も重要な課題の一つになっています。このような課題に立ち向かっていくためには、様々な立場の関係の方々協力して、新たな視点や価値を見い出しながら多方面に取り組んでいくことが求められますが、特に現場の実践を視野に入れた調査研究を着実に積み重ねていくことが、政策の方向性を見定めて具体的な成果を見い出していく重要な基盤になっていくものと考えております。本日のフォーラムにおきましても、多岐にわたる研究成果が発表されておりますが、このような調査研究の蓄積が今後のわが国のヘルスケアの充実に向けて大きな原動力となっていくことと考えております。そのような意味で、ファイザーヘルスリサーチ振興財団様の活動が、今後ますます重要なものとなり、かつ、多くの期待が寄せられるものと考えております。

また、今回も協賛をさせていただいている私ども医療経済研究機構は、わが国における医療経済、医療・介護政策に関する研究を促進することを目的とした研究機関です。弊機構では、調査研究事業の他に、研究会やシンポジウムの開催、月刊誌や機関誌の発行などの普及啓発事業、また小規模ではございますが、医療経済研究の発展と若手研究者の育成を目的とした研究助成などの基盤整備事業にも取り組んでおります。弊機構としては、微力ではございますが、今後もファイザーヘルスリサーチ振興財団様と相互に連携を図って、ヘルスリサーチの分野における調査研究を振興し、共に社会貢献できればと考えております。

最後に、本日のヘルスリサーチフォーラムが、今後のわが国におけるヘルスケア研究を更に推進していく契機となりますとともに、本日まで参加された皆さま方の今後の研究や様々な現場での取組の発展につながっていくことを心から祈念申し上げて、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。